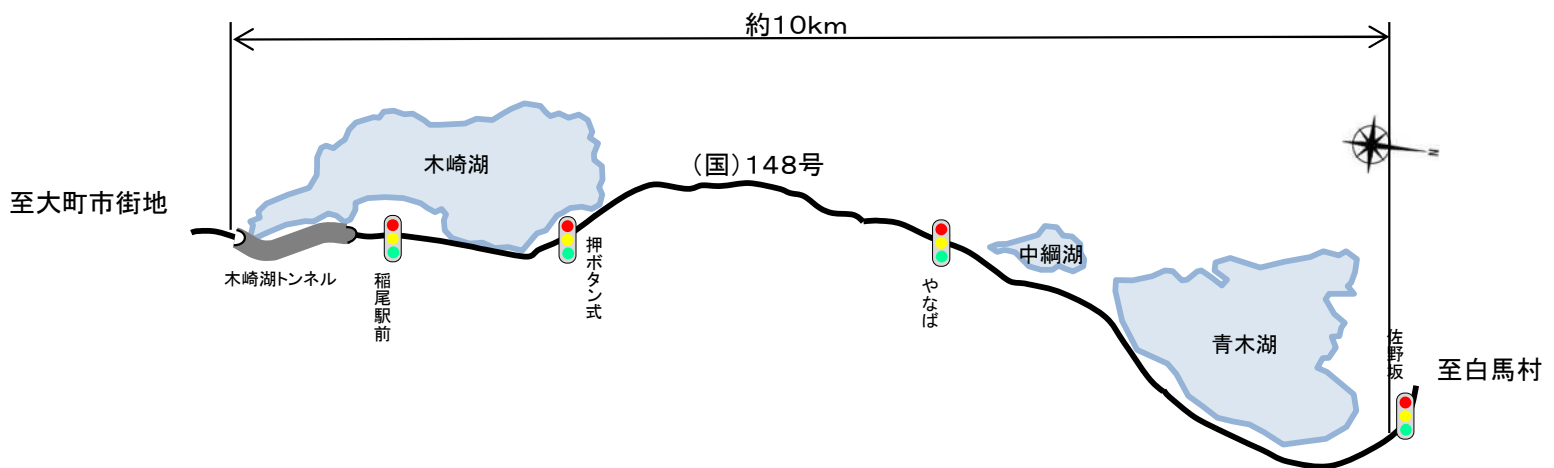


木崎湖以北の現道活用区間について



大町市街地区間と比べて、

- ・ 信号交差点が約10km間に3箇所と少ない
(大町市街地区間のオリンピック道路は約8 km間に8箇所)
- ・ 沿道からの出入りが少ない
- ・ 現在も概ね50~60km/hで走行できる



現在の道路を活用する現道活用区間

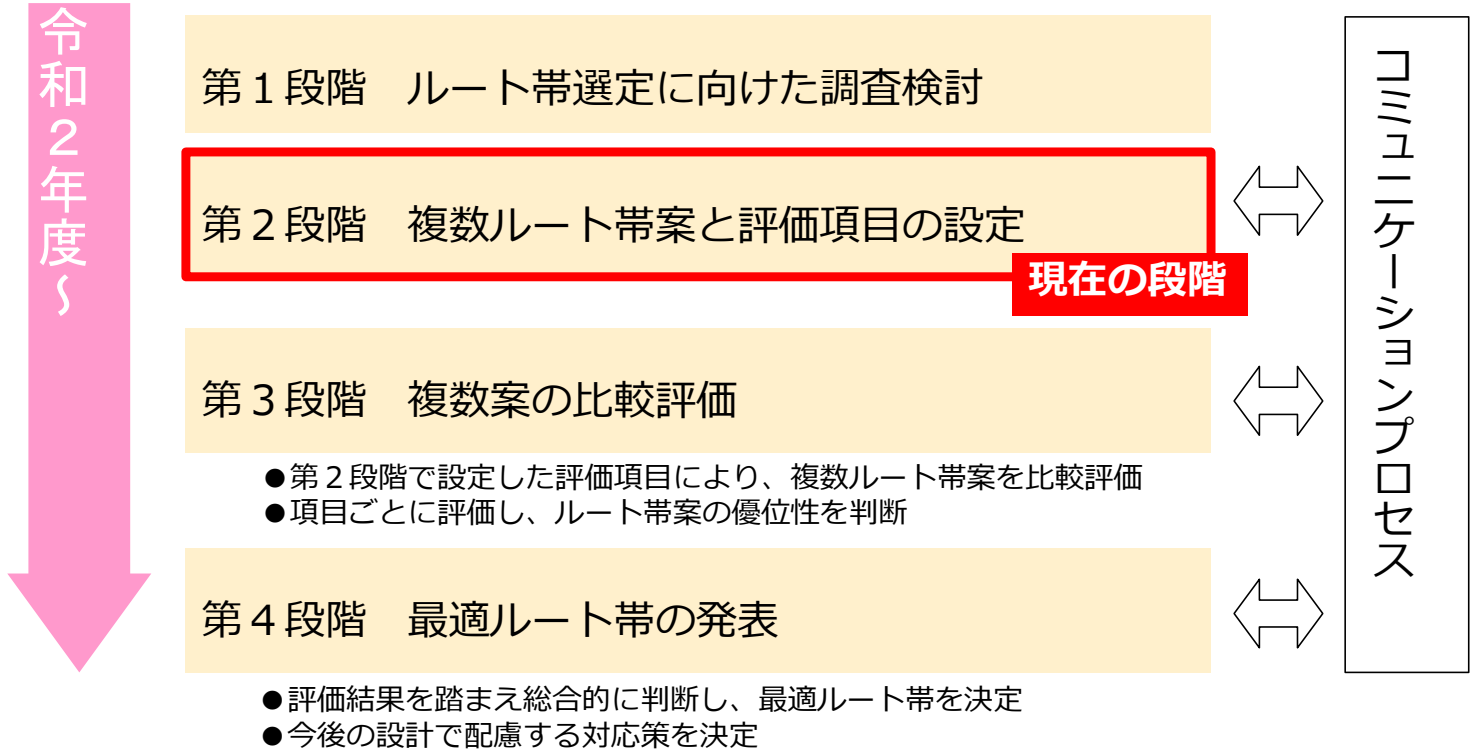


走行の定時性確保に課題のある
大町市街地区間を優先して進めていきます。

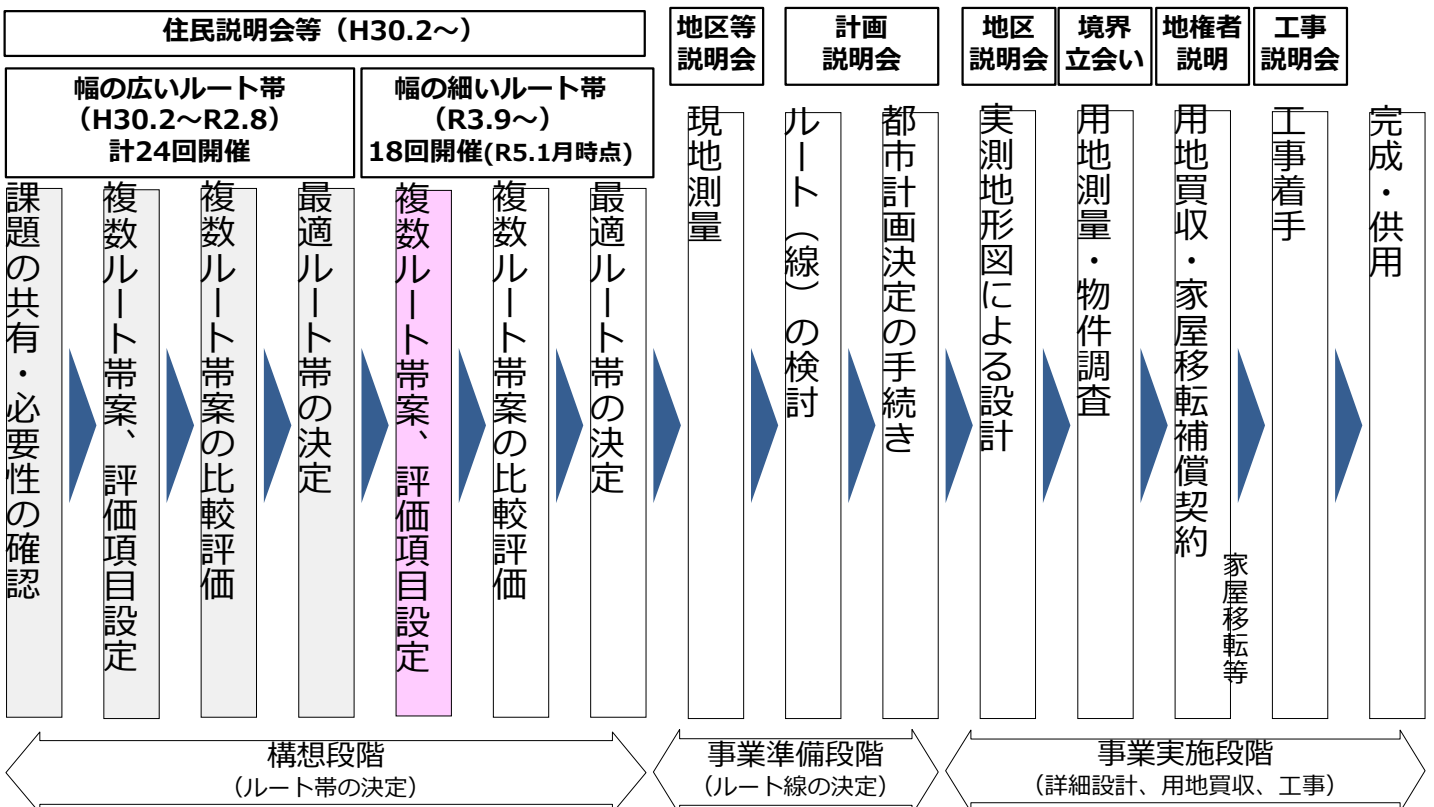
これからの予定

■ 幅の細いルート帯（100m）選定の流れ

幅の細いルート帯（100m）の選定



■ これまでとこれから



ルート帯決定後の主な流れ

皆様の抱える疑問や不安に対して、段階ごとに説明会等を実施し、できる限り不安を低減できるように地域の皆様と意見交換を行いながら進めていきます。

最適ルート帯の決定

現地測量

ルート帯の中で詳細なルートを検討するための測量をします

道路構造、用地に対する
疑問や不安にお答えします

ルート(線)の検討

実際のルート(線)と概ねの構造を検討します

実際に道路はどこを通るのか、盛土高さ、高架橋などの概ねの構造を検討します。概ねの用地範囲がわかります。

都市計画決定

都市計画道路として位置づけます

ルート(線)が決定されます。

事業期間、完成予定をお示します

事業化

新規事業として着手します

事業期間、事業費、スケジュール等を定めます。

実測地形図による設計

実際の道路ルート、構造を確定します

測量や地質調査等の結果を用いて橋や道路の構造を決めるとともに、道路として必要な範囲を決定します。概ねの用地範囲も確定されます。

道路に必要な用地はどこまでになるのか、
どのくらいの面積になるのかをお示します

用地測量

道路用地幅を確定します

土地所有者との立会で決まった境界や用地幅杭を基に、土地ごとに道路に必要な面積を確定します。

用地買収額、建物等の補償額をお示します

用地買収・物件補償

代替地や用地単価、補償額を地権者さんと交渉します

国の補償基準に基づいて補償金額を算定します。

工事の施工方法、工事中の安全
対策、時期等をお示します

工事

道路築造の工事を行います

完成・供用

よくあるご意見に対する回答

主なご意見の内容	回答
早期の建設を望む。	丁寧な説明と意見交換を行いながら、できる限り早期にルートが決定できるよう努めてまいります。
大町市街地区間に松糸道路は必要ない。	大北地域は高速交通ネットワークの空白地域であるため、規格の高い道路で松本・安曇野や北陸地域と結ばれることで、物流の促進、新たな企業間の取引など地域産業の発展や、観光の活性化、救急搬送の時間短縮など波及的効果が期待できるため、必要な道路と考えています。
盛土では地域が分断されるし景観が損なわれる。	大町市街地区間では、沿道からのアクセスによる速度低下が生じないよう、盛土等の立体構造により沿道からの出入りを制限したいと考えています。できる限り地域の分断にならないよう立体構造とし、地域の行き来ができるような構造を検討してまいります。景観につきましては第3段階の比較評価において、「景観への影響」により、それぞれのルート帯案の特徴をご説明してまいります。
オリンピック道路を改良して利用すればよい。	大町市街地区間の現道を利用するには、信号交差点や沿道からの出入りなどが影響し、走行の定時性確保に課題があるため、立体化するなど大幅な道路改良をする必要があり、沿道の皆様への影響が大きいと判断しています。
木崎湖以北も大町市街地区間と一緒に検討するべき。	木崎湖以北の現道活用区間は、大町市街地区間と比較し、信号交差点や沿道からの出入りなどの影響が少なく走行速度が比較的高いため、まずは走行の定時性確保に課題のある大町市街地区間を優先して進めることとしています。
完成までのスケジュールを示してほしい。	現在はルート帯を選定している段階であり、具体的な完成時期をお示しできません。